



# 設楽ダムの建設中止を求める会

会報第25号  
2012年1月

<http://no-dam.net/index.html>

## 控訴審第5回口頭弁論に証拠として提出—「設楽ダム予定地地質調査報告書」 (2011.12月13日)

第5回控訴審口頭弁論では、豊川市在住の森川浩二さんが意見陳述を行ないました(別紙1)。また、昨年7月に行われた設楽ダム建設予定地の地質調査報告書が、証拠として提出されました。

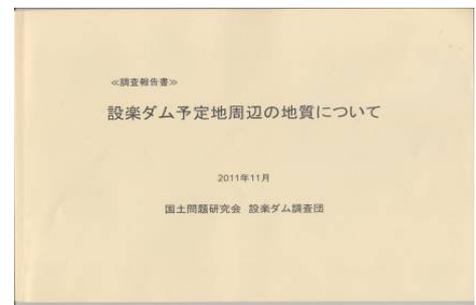


膨大な国交省のデータを読み解いて作成された調査報告書は図版を含めて全23ページ(A4サイズ)あります。「設楽ダムの建設は極めて多くの問題をはらんでおり、調査はつくされていない。既定の方針として計画を進めることは地域住民に対して、今後さらに多大な負荷を与えることになる」と考えられる」と調査団代表の紺谷吉弘氏は結論として述べております。

またこの報告書を基に「これでもダムを作りますか?」のチラシ(同封・別紙)を作成し、既に設楽町には全戸配布しました。今後も地質についての出前説明会を行なっていきます。

(写真は昨年11月20日に開催した調査報告会、設楽の田口特産物振興センター会場の様子。約50人が参加しました。なお、紺谷吉弘氏を招いて豊橋、設楽、名古屋の3ヶ所で開催した調査結果報告会「設楽ダム建設予定地の深層崩壊・水漏れを考える」は、いずれの会場も満席の盛況でした。)

**次回控訴審 期日**  
**3月27日(火)午後1:30~**  
**弁護団の更新弁論があります。**  
**大勢の傍聴をお願いします。**



### ○調査報告書「設楽ダム予定地周辺の地質について」送付について

当会会員のみなさまをはじめとして多くの方々には、作成費用等ご協力していただき大変お世話になりました。ありがとうございました。

この《調査報告書》「設楽ダム予定地周辺の地質について/国土問題研究会 設楽ダム調査団編」については、前号で送付するとご案内しましたが、既に報告会や控訴審に出席された人には配布しており、配布が重複する可能性があることから、報告書をご要望の方は同封しました振込用紙でご要望冊数を記入のうえ1冊につき500円(送料込み)程度のカンパを添えてご請求ください。こちらよりお送りいたします。

お手数をかけますがよろしく申し上げます。

3月3, 4日総会、シンポジウム「公共事業と生物多様性について～持続可能な流域社会をめざして～(同封チラシ)」を開催します。3ページに開催経緯等の説明を掲載しましたのでご一読ください。

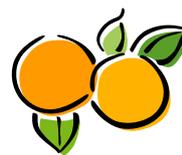
# 国交省中部地整が開催 設楽ダムの「検討の場」(第4回/2011. 12月18日)

(設楽ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場)

## について市野代表、伊奈副代表が記者会見

(豊橋市役所にて 2011, 12月27日)

2011. 12. 28付 朝日新聞



### 設楽ダム検討の場「恣意的」

#### 建設反対派が 検証方法批判

国土交通省中部地方整備局が開催している設楽ダム(設楽町)の「検討の場」について、「設楽ダムの建設中止を求める会」(代表、市野和夫・元愛知大教授)は27日、豊橋市内で記者会見し、「極めて恣意的な『検証』が行われており、市民団体や環境団体の意見を反映させないやり方だ」と批判した。

「検討の場」は昨年11月に始まり、関係自治体の首長らが参加してこれまでに4回開かれた。今月18日の会合で中部地整局は、ダム代替案と現行の設楽ダム建設案の利点や問題点を記した「総括整理表」を提示。コスト面を中心に、全体的に設楽ダムの優位性を強調する内容になっている。

「求める会」は、「治水の代替案で、コストや効果の点で最も有力な『堤防強化策』が、検討の場では除外されている」と批判した。また、利水の点でも「国

は『今後、少雨化になる』と言っているが、事実ではない。水道、農業の両用水とも足りている」と指摘。設楽ダムを巡る住民訴訟で、昨年6月の名古屋地裁の判決でも、県の水需要想定が過大さを認めているにもかかわらず、「県側が根本的な検証をしないのは問題だ」としている。

#### 国の説明が不足

##### 設楽ダム検証会合

##### 市民団体が批判

市民団体「設楽ダムの建設中止を求める会」の市野和夫代表が二十七日、豊橋市役所で会見し、十八日に市内であった設楽ダムを再検証する会合を「国の説明が不足している」と批判した。

市野会長は、中部地方整備局の担当者が設楽ダムを建設した場

合、九月の台風15号による市内の浸水被害が軽減されると説明した点を指摘。「被害の軽い検証を『極めて恣意的だ』と指摘した。中部地整の担当者は「ダムを含む整備計画の効果を説明した。ダムが県の水需要を従来通りと答えた点にも触れ『近年の需要実績をい』と反論した。



2011. 12. 28付中日新聞

この「検討の場」は、設楽ダム事業に問題提起をしている市民団体や環境団体の意見を述べる機会が全く作られていません。会議開催日も開催日直前にHPで報せるだけという方法をとっています。問題提起を封じ込めています。検証を行う主体が事業者本人であり、傍聴者の発言は許さない、というおよそ民主国家とは言いがたい運営がなされています。当会では第1回の「検討の場」終了後、運営方法に対して反対声明を出し、改善を求めましたが、何も見直されないまま今日に至っています。

しかし、今回の記者会見では地方版ですが、5紙が取り上げたことで、中部地整のお手盛り検証、推進勢力のみによる検討の場の実状について、いくらかは市民の知ることになったと思います。



～ご案内～

## 2012年設楽ダムの建設中止を求める会総会と シンポジウム「大型公共事業と生物多様性」開催について

### シンポジウム開催の経緯について

同封のチラシにありますように来る3月3日に標記のシンポジウムを、翌4日には設楽ダム建設予定地視察を開催します。NPO法人「公害・地球環境問題懇談会」との共催で行います。

このシンポジウムはNPO法人「公害・地球環境問題懇談会」の応援を得て、当会が企画、立案しました。「設楽ダムはいらない！県民会議」賛同団体や「設楽ダムはいらない！名古屋の会」の協力のもとに4回の話し合いを持ち、開催に至っております。主催者団体をはじめ立木トラスト運動参加者、一般市民のご出席をいただき、全国的に「設楽ダム建設事業」の問題に対する理解を深め、広める目的で開きます。

会場となるホテルは豊川河口の南側にあります。豊川河口の六条潟は1999年に埋立事業が動き始めたものを市民運動や県漁連の運動で止め、保全区域になったという意義深い歴史的な干潟です。その干潟もご覧いただきながら海から見る清流豊川の果たしている役割を検証します。

ぜひご出席くださいますようご案内申し上げます。

### ●開催日 2012年3月3日

会場／ホテル シーパレスリゾート バンケットホール 豊橋市神野新田町三ノ割 1-3 TEL0532-32-8811

・プログラム(総会参加費:無料 シンポジウム参加費:無料、懇親会:4,500円)

13:00～13:30 2012年「設楽ダムの建設中止を求める会」総会

13:30～17:30 シンポジウム「大型公共事業と生物多様性について」～持続可能な流域社会をめざして～

18:30～20:30 懇親会 (こどもたちがお能の舞と謡を披露します)

### ●開催日 2012年3月4日 (ダムサイト見学参加費:1000円(昼食代として)、ワークショップ参加無料)

8:30～ 設楽ダムサイト予定地見学

13:30～15:30 ワークショップ「ダムはいらない！私の地域おこし」

会場／田口特産物振興センター多目的ホール 設楽町大字田口字向木屋 3-1 TEL 0536-62-0977

応募提案から書類選考を経て「生物多様性を生かした地域おこし」の提案を発表

17:00 JR 豊橋駅着

### ※ 公害・地球環境問題懇談会(公害・地球懇)とは(<http://www.jnep.jp/>より)

「公害・地球懇(JNEP)」は、公害や環境破壊をなくすために運動している団体や個人と連帯する組織として1989年8月に結成された「なくそう公害、守ろう地球環境」実行委員会の成果を踏まえ、さらに、運動をひろげるために1990年12月に結成されました。当会には、水俣病や大気汚染公害、薬品公害、基地騒音公害、ムダで有害な公共事業などの訴訟をになっている公害被害者団体の訴訟団や弁護団、これを支援する労働組合、女性団体、農民団体、医療関係団体なども参加しています。また、公害・地球環境問題に取り組んでいる学者・研究者をはじめ、多くの市民や労働者も参加し、「なくせ公害、守ろう地球環境」をスローガンに活動しています。2009年12月、デンマークで開催されたCOP15に、22名の代表団を派遣しました。

### 公害・地球環境問題懇談会(JNEP)の連絡先

〒160-0022 東京都新宿区新宿 2-1-3 サニーシティ新宿御苑 10F TEL.03-3352-4938 FAX 03-3352-9476

※ただし、総会及び当シンポジウムに関するお問合せは「設楽ダムの建設中止を求める会」事務局奥宮へ。

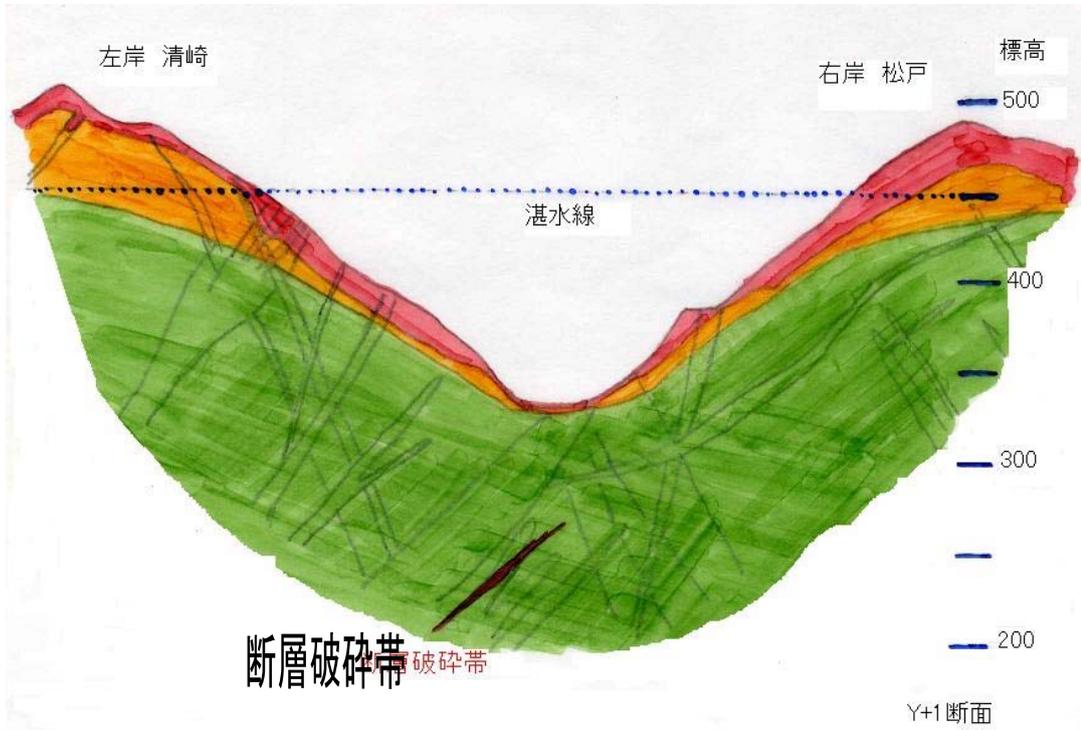
### 「ダムはいらない！私の地域おこし」提案を募集しています

3月4日のワークショップを開催するにあたり、豊川流域において「地域の資源を活用」、「地域の環境保全」、「生物多様性を生かす」、これら3条件をふまえた「地域おこし」提案を募集します。日頃考えておられる意見発表の場と捉えて気楽にご応募ください。応募は、現在のお住まいが豊川流域圏以外の方でも構いません。締め切りは2月18日(必着)です。

送り先/[ichinok7@mx3.tees.ne.jp](mailto:ichinok7@mx3.tees.ne.jp) (市野)、または 440-0069 豊橋市御園町1-3 奥宮芳子  
当日発表していただくか否かを2月末までにご連絡します。

# 報告 隠された断層とこれからの運動について

昨年国土問題研究会による設楽ダムの地質地盤調査の報告会を3回にわたって開いたことは1ページでお知らせしましたが、開催にあたり広報チラシにダムサイトの断面図のイラストを載せました(下図)。その図にダムサイト直下の断層破砕帯が示されています。<http://no-dam.net/shitarajiban111114.pdf>



国土問題研究会の調査の際に奈良県の方から中部地整に情報開示請求で入手した膨大な国の地質調査データが提供されました。その資料を、年度を追って調べてみたところ、この図に示されているダムサイト直下約90mの破砕帯は、2002年度(H14)のボーリング調査で見つかったものです。その延長線は、右岸の岩盤に続いているように見えます。

**国の報告書** では、この延長が右岸の岩盤まで伸びていないとまとめてありますが、右岸のボーリング調査の基データには対応する破砕帯が示されています。

この問題を含めて、1月～2月に、ダム事務所に対する聞き取りや、諸方面への働きかけをするなど、取り組みを強めたいと思います。

2月の県議会には、設楽ダム推進(追認)をしてきた県議会に対して、あらためて、見直しを求める要請を行いたいと思います。

これまでのダム推進根拠が事実に基づかない虚偽や誤りである点を明らかにするとともに、国土研に依頼して作った「地質調査報告書」の示すとおり、造ってはならないダムであることを明らかにして、議会に迫りたいと思います。

大村知事の与党である「減税日本」を初めとする議員の皆さんにも、協同を呼びかけたいと思います。まずは、勉強会を開いてもらうなど、お願いしていく予定です。会員の皆さまのご協力をお願いします。

(市野)

振込用紙を同封しました。

2012年度の会費(年会費2000円)お振込や報告書請求などにご利用ください。

3月3日総会と翌4日のイベントにご協力をお願いいたします。

全国の脱ダム運動と連帯して、拡がれ「NO!設楽ダム」、「ストップ!八ツ場ダム建設」へ



設楽ダムの建設中止を求める会: <http://no-dam.net/>

郵便振替の口座番号:00870-1-134146 加入者名:設楽ダムの建設中止を求める会  
他銀行からの振込みは、ゆうちょ銀行【店番 089(ゼロハチキュウ店)当座 0134146】

代表 市野和夫 [ichinok7@mx3.tees.ne.jp](mailto:ichinok7@mx3.tees.ne.jp)

事務局 奥宮芳子 〒440-0069 豊橋市御園町1-3

Tel & fax 0532-54-7305 [okumiya@xj.commufta.jp](mailto:okumiya@xj.commufta.jp)